

令和7年度健康政策部予算見積総括表

令和7年度予算の基本方針

1. 「日本一の健康長寿県構想」
①健康寿命のさらなる延伸(生活習慣病予防、がん検診、血管病重症化予防)、②医療提供体制の確立(小児オンライン相談、周産期医療体制、オンライン診療、医療人材の確保)
2. 災害時の「県民の安全と安心の確保のための体制づくり」
外部から支援が受けられるまでの間、自らの力で医療継続できる体制整備の強化
3. 「動物愛護の推進」
動物愛護センター整備、不幸な猫を増やさない取り組みの強化(地域猫活動の定着)

一般会計

令和7年度予算見積額	36,403,902 千円
令和6年度当初予算額	35,192,457 千円
差 引 増 減 額	1,211,445 千円
対 前 年 度 比 率	103.4 %

国民健康保険事業特別会計

令和7年度予算見積額	73,060,467 千円
令和6年度当初予算額	73,071,675 千円
差 引 増 減 額	-11,208 千円
対 前 年 度 比 率	100 %

(注)上記には、人件費を含まない。

1. 日本一の健康長寿県構想

※()は一般財源、[]は令和6年度当初予算

(1) 健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進

① 生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化

健康づくり推進事業費(県民健康づくり推進事業費、高知家健康パスポート事業費) 69,072千円 (22,386千円)
[R6:60,600千円 (26,941千円)]

壮年期男性の死亡率改善に向け、事業所や市町村等と連携し、生活習慣病※の発症リスクの低減を図ります。

※がん、心臓病、脳卒中、糖尿病など

■主な拡充内容：

- 拡** ①高知家健康会議生活習慣病対策部会による職場と連携した取組の強化
 - ・従業員の健康づくりイベント（歩数、体重・血圧記録）の年間開催＜R6：3か月間→R7：通年＞ など
- デジタル** ②健康パスポートを活用した働きざかり世代の健康づくり事業の拡充
 - ・アプリの改修（使い勝手の改善）及び事業所登録の拡大に向けたプロモーション強化など＜登録事業所 R6：87→R7：220＞
※R6.11時点

② がん検診受診率の向上対策の推進

がん対策事業費(がん検診受診促進事業費) **39,205千円 (27,972千円)**
[R6:33,772千円 (25,461千円)]

がん検診の受診率向上に向け、「がんポータルサイト」の構築や受診勧奨により、がんに関する知識の向上やがん検診の受診拡大を図ります。

■主な実施内容：

- 新 デジタル** ①がんポータルサイト構築等委託料 9,114千円 (4,557千円)
 - ・がんポータルサイト（がん検診やがんに関する情報を一元化したサイト）の構築
 - ・市町村が実施する検診日程や精密検査実施医療機関が検索できる機能の構築
- 拡** ②がん検診受診率向上キャンペーン実施委託料 11,903千円 (5,952千円)
 - ・受診勧奨（事業所：検診マニュアル・研修動画作成、家庭：子どもが保護者向けメッセージを作成）
- 拡** ③がん検診広域実施委託料 875千円 (438千円)
 - ・平日の夜間検診の実施（18:00～20:00） ※会場：公益財団法人 高知県総合保健協会

③血管病重症化予防対策の推進

血管病対策事業費(循環器病対策推進事業費)

※心筋梗塞、脳卒中など

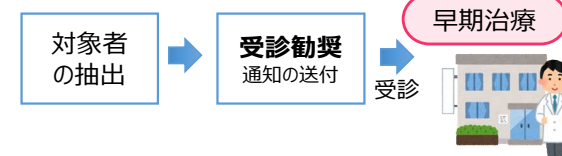
循環器病※による死亡率改善に向け、「高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に続き、未治療者などを適切な治療につなぐ仕組みを構築することで、循環器病の発症リスクの低減を図ります。

■主な拡充内容：

新

- ①全国でも先駆的な循環器病重症化予防プログラム※の策定
- ②治療や保健指導に関する研修会の開催（保険者や医療機関向け）
- ③「脳卒中・心臓病等総合支援センター」の設置検討

《※プログラムのイメージ》



(2) 地域で支え合う医療・福祉・介護サービス提供体制の確立とネットワークの強化

①へき地など地域の医療提供体制の確保

新

デンタル

救急医療対策費(小児オンライン相談事業費)

元気な未来創造枠

12,018千円(0千円)[R6:0千円(0千円)]

子育ての不安解消に向け、気軽に小児科医師に相談できるオンライン相談窓口の設置により、中山間地域においても安心して子育てできる環境づくりを進めます。

■主な実施内容：メールなどを利用した小児科医師によるオンライン相談窓口の設置（利用料無料）

対象：0～15歳のお子さん（24時間対応）

拡

在宅医療提供体制推進事業費（オンライン診療推進事業費補助金）

23,329千円(0千円)

[R6:28,759千円(0千円)]

地域の医療提供体制の確保に向け、医療機関等に対して通信機器や看護師派遣費用を補助することにより、中山間地域の集会施設や診療所等におけるオンライン診療の実施拡大を図ります。

- 補助先：医療機関、市町村、地域医療連携推進法人
- 補助率：1/2、定額 ※補助メニューにより異なる
- 補助メニュー：通信機器、ヘルスケアモビリティ、看護師派遣

母子医療対策事業費

元気な未来創造枠

89,005千円 (13,961千円)[R6:74,209千円 (11,041千円)]

県内のどこに住んでいても安心して妊娠・出産できる環境を確保するため、県周産期医療協議会での議論をもとに、周産期医療の将来を見据え、必要な対策を実施します。

加えて、無痛分娩の導入や、分娩のために遠方の医療機関に赴く妊婦等への支援の充実を図ります。

■主な実施内容：

新

①無痛分娩提供体制構築プロジェクト：15,000千円（0千円）

無痛分娩の実施体制を構築するため、高知大学医学部が取り組む産科麻酔科医の人材育成を支援

拡

②分娩待機費用等支援事業費補助金：3,134千円（3,134千円）

医療機関までの移動距離が遠い妊婦の負担軽減（交通費、宿泊費を支援）

・補助内容：遠方にある医療機関までの交通費

分娩待機にかかる宿泊費

保健医療計画推進事業費(地域医療提供体制検討委託料)

33,550千円 (0千円)

[R6:12,103千円 (0千円)]

地域における適正な医療提供体制の構築に向け、令和6年に実施した患者の受療動向の分析をもとに、地域ごとの必要病床数及び医療従事者数の分析を行い、医療機関や市町村等の関係者に対し提案することで、医療機関の連携強化や機能転換等の協議を促進します。

特に、先進事例である幡多地域の地域医療連携推進法人※（R7.4.1設立予定）の取組を支援します。

※地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、地域の医療機関等が機能分担や業務の連携を行うことを目的とする一般社団法人。

拡

■主な拡充内容：

患者数に対する必要病床数の分析＜R6：患者の受療動向→R7：主要病院データ、対策案の提案＞

病床数に対する医療従事者数の分析＜R6：医師・看護師→R7：薬剤師、看護補助者、理学療法士 など＞

②医療人材の確保

看護の人づくり事業費（看護師等確保対策助成事業費）

元気な未来創造枠

333,098千円 (75,128千円)

[R6:255,816千円 (72,252千円)]

看護師の確保に向け、情報発信や就業環境の改善などにより、看護学生の県内就職率の向上と潜在看護師の就労を促します。

■主な実施内容：

新

- ①病院ホームページ改修事業補助金：2,000千円（2,000千円）

ホームページの改修を行う医療機関への費用の一部を補助（採用や人材育成などの求人情報を増やす）

新

- ②県内病院見学バスツアー事業：960千円（0千円）

看護学生が地域の病院を知り、仕事を体験し、直接、先輩職員の声を聞く、見学ツアー授業の実施

新

デンタル

- ③看護業務DX化支援事業費補助金：90,000千円（0千円）【経済】

看護業務の効率化・省力化に資する機器の導入を支援

拡

- ④看護職員確保対策事業委託料：24,399千円（5,877千円）

・医療機関に勤務環境の改善及び処遇改善を促すための研修及びアドバイザーによる相談を実施

・看護人材（短期就労）と医療機関とのマッチングシステムを構築（看護師が不足している中山間地域での産休・育休職員の補充）

新

医薬連携推進事業費（薬剤師キャリア形成支援補助金）

985千円 (0千円)[R6:0千円 (0千円)]

薬剤師のキャリア形成を支援することにより、県内就職率の向上と薬物療法などの充実につなげます。

■補助先：薬剤師

■補助メニュー：専門・認定薬剤師資格取得支援、学位取得支援

新

デンタル

医薬連携推進事業費(薬剤師確保ポータルサイト構築等委託料) 10,000千円 (0千円)[R6: 0千円 (0千円)]

薬剤師の確保に向け、ポータルサイト（勤務環境、キャリア形成などの情報）を構築します。

■主な実施内容：薬学部を目指す学生やU・Iターンを希望する薬学生及び薬剤師に役立つ情報の一元化

進学セミナー、インターンシップや就職説明会等のイベント情報、高知で輝く薬剤師へのインタビュー記事の発信

奨学金返還支援制度や専門・認定薬剤師などキャリア形成への県の支援情報の発信

その他 医療人材確保に関する奨学貸付金等

ア 奨学貸付金

医学を履修する課程の大学及びその他医療人材養成施設に在学する者で、卒業後県内の指定医療機関で勤務しようとする者に対して、奨学金を貸付け、県内で就業する医療人材の確保を図ります。

■対象者：医師、看護師、准看護師、助産師、歯科衛生士を目指す者

医師確保対策事業費（医師養成奨学貸付金）

324,360千円（153,150千円）
【R6:318,120千円（172,593千円）】

看護の人づくり事業費（看護師等養成奨学貸付金）

53,166千円（45,349千円）
【R6:51,894千円（43,008千円）】

看護の人づくり事業費（助産師確保対策奨学貸付金）

15,000千円（13,817千円）
【R6:16,800千円（15,885千円）】

歯科保健事業費（歯科衛生士養成奨学貸付金）

8,292千円（8,292千円）
【R6: 5,748千円（5,748千円）】

イ 奨学金返還支援

医薬連携推進事業費（薬剤師奨学金返還支援補助金）

1,800千円（0千円）【R6:1,800千円（0千円）】

県内の病院への就職及び定着を促進するために、薬剤師への奨学金返還支援等を実施する病院に対して補助金を交付します。

■補助先：薬剤師奨学金返還支援制度のある県内の病院

■補助割合：1/2(補助限度額：年225千円/人)

③その他

新 難病患者等支援事業費（脳脊髄液減少症シンポジウム開催費）

500千円（500千円）
【R6: 0千円（0千円）】

倦怠感や頭痛などの症状を抱えた児童生徒等の早期治療のため、医療関係者及び学校関係者に、脳脊髄液減少症の診断や治療について啓発し、理解を促すシンポジウムを開催します。

2. 県民の安全と安心の確保のための体制づくり

災害医療救護体制整備事業費

184,609千円 (152,893千円)
[R6:667,984千円 (269,135千円)]

「能登半島地震」の状況を踏まえて、「南海トラフ地震」に備えるため、外部からの支援が受けられるまでの間、自らの力で医療継続できる体制整備の強化を図ります。

拡

■ 主な実施内容：

①災害時医療従事者等研修事業の拡充：6,621千円（6,621千円）←A 医療機関の機能不全
DMAT（災害派遣医療チーム）研修会の開催（R6:2回→R7:3回）

拡

②災害医療救護体制強化事業等補助金：67,793千円（67,793千円）←A 医療機関の機能不全
医療機関等が行う設備・備品整備やBCPの策定などの取組支援に加え、災害時のローカルDMAT活動に必要な資機材整備について新たに経費を補助

- ・補助先：ローカルDMATチーム（県内の活動に特化した災害派遣医療チーム）を保有する医療機関
- ・補助率（補助上限額）：1/2（800千円）

新

③検診車両改修工事請負費：2,000千円（2,000千円）←C 医療機能を補完する機器の活躍

乳がん検診車（高知県総合保健協会所有）を臨時医療施設（医療コンテナの代替機能）として活用できるように改修
＊ 災害時に孤立が想定される医療圏域における医療救護活動を想定

能登半島地震の状況

A 医療機関の機能不全

B 受援体制の整備が不十分

C 医療機能を補完する機器の活躍

D 断水の長期化（病院）

【参考：予算を伴わない取組の強化】

①保健活動の受援体制の強化 ←B 受援体制の整備が不十分

- 初動対応や応援職員の受入体制（役割分担の明確化など）について、県・市町村の体制の見直しと保健活動マニュアルの改定
＊ 幡多福祉保健所（R6改定）、その他福祉保健所（R7改定）

②航空搬送拠点臨時医療施設（SCU※）の運営方針の見直し及び医療体制の強化 ←A 医療機関の機能不全

※大規模災害発生時の臨時的医療施設（傷病者を被災地外の災害拠点病院などに空路で搬送する際の中継拠点）

- 国の「SCUの体制整備」の方向性及び動向に基づく見直し

検討事項：病院併設型SCUへの見直し（現行：医療機関に未併設の防災拠点（2箇所）→検討案：医療機関併設）

運用病床数の見直し（現行：20床→検討案：災害時の医療提供体制等について再検討）

- 孤立が懸念される地域を想定した検討

検討事項：SCU以外の新たな医療支援拠点の設置及び運用方法（設置市町村、資機材及び規模等）

③医療機関における水の確保（飲食用以外※飲用水は備蓄済） ←D 断水の長期化（病院）

- 医療活動が継続できる体制や運用の再考 ※避難所などの重要施設に接続する水道管路の耐震適合率50%（全国7位）

検討事項：医療機関に対する優先的な水の供給方法（給水車などの活用）

医療機関又は市町村における可搬式浄水設備の整備（重要性の周知や補助金の活用加速）

＊ 第81回南海トラフ地震対策推進本部会 資料「令和6年能登半島地震の調査・分析結果（要約）について」Ⅳ－（2）を参照

3. 動物愛護の推進

動物愛護推進事業費（動物愛護センター整備事業費）

291,503千円（15,182千円）
[R6:3,148千円（1,999千円）]

人と動物との調和の取れた共生社会の実現に向け、県と高知市が共同で動物行政を総合的に推進する拠点を整備します。

■施設の概要（完成予定：R9.3）

- ・位 置：高須浄化センター敷地内（高知市高須）
- ・面 積：建物延床面積 1,500㎡程度、敷地面積 3,000㎡程度（駐車場等の附帯施設・設備含む）

■主要な機能

- ・動物の適正飼養・終生飼養の啓発の拠点
- ・収容動物の譲渡推進の拠点
- ・多様な主体（動物関係団体やボランティア、行政機関等）との連携・協働

■R7実施内容

実施設計（地質調査含む）、用地造成工事

拡

動物愛護推進事業費（地域猫推進事業）

18,208千円（12,525千円）
[R6:15,105千円（9,627千円）]

不幸な猫を増やさないため、市町村が実施する飼い主のいない猫への不妊去勢手術の費用を補助するとともにボランティアリーダーを育成する講演会等を開催することにより、地域住民主体の地域猫活動※の定着を図ります。

- 主な拡充内容：地域猫推進事業補助金（補助頭数 R6：1,700頭→R7：3,000頭、補助申請窓口の一元化）
 - ・補助先：市町村（高知市を除く）
 - ・補助割合：1/2（上限 雌1頭6,000円・雄1頭4,000円）

※地域住民と飼い主のいない猫との共生をめざし、不妊去勢手術や新しい飼い主を探すことで、将来的に飼い主のいない猫をなくすための活動（環境省「住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン」を参照）